

# 2020（令和2）年度 校内研究主題及び内容

2020年4月20日  
校内研究推進委員会

- 1 研究主題 教科で身に付けた資質・能力の活用を目指した授業  
～カリキュラムマネジメントの視点から考える教科横断的・総合的な授業づくり～

- 2 研究主題設定の理由

本校では、これまで「学ぶ意欲を引き出し、自ら学び考える力を育成する授業～生徒一人ひとりの思考力・判断力・表現力等の育成を図る授業づくり～」というテーマのもと2013年度より研究を進めてきた。2018年度は、研究主題にせまるために、「わかる授業」を目指した計画に基づく授業の工夫に努めた。生徒と教員が、「なんのために」「いつ」「なにを」「どのように」学ぶのかを共有し、見通しをもって取り組むことが「わかる授業」に繋がると考え、カリキュラム・マネジメントの観点を踏まえて、教科の目指す生徒像を明記した年間指導計画（学習情報）、生徒と共有する単元指導計画（まなびのプラン）を作成し、さらに、生徒の興味関心を惹く授業のねらい等の活用方法を研究してきた。当年度に実施した生徒による授業評価アンケート結果から、計画に基づく授業の工夫による「わかる授業」は、一定程度の成果を得たことを読み取ることが出来た。

2019年度は、生徒の学習への意欲や学習の質を高めることを目指し、2018年度に取り組んだ各教科におけるカリキュラム・マネジメントを推進し、各教科間での連携だけでなく、総合的な学習の時間との連携を模索した。年間指導計画や単元指導計画を教師間で共有することを通して、各教科の授業を通して身に付けた資質・能力を他教科で活用することができる学習内容や授業展開の工夫に取り組んだ。また、各教科間での連携を目指すだけでなく、生徒の学習が一層の深まりと広がりを見せることを期待して、総合的な学習の時間において、各教科との関連的な指導に取り組んだ。

一例として、社会科の資料活用の方法を生かして情報を収集したり、美術科で学んだレイアウトをポスター制作で生かしたり、国語科で学習した文章の書き方を生かして分かりやすいレポートを作成したりする等の学習内容、また、各教科学習にて「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて実践しているグループ学習の仕方や発表形態等の学び方を活用した総合的な学習の時間の学習内容や授業展開の工夫を実践した。さらに、総合的な学習の時間においてのみ、各教科で身に付けた能力や資質を関連付けて取り組むだけでなく、総合的な学習の時間で取り組んだ学習内容を生かして、国語科の時間にお礼状を書く等、総合的な学習の時間と各教科とを相互に関連付けた学習内容や授業展開の工夫を実践した。

2020年度は、昨年度の実践を記録していくことで作成した「2019年度 総合的な学習の時間と各教科等の単元を関連付けた年間指導計画」を元に、総合的な学習の時間の授業内容に合わせて単元の指導順を入れ替えたり、総合的な学習の時間を含めた教科間で学び方を検討したりすることで、計画的に関連付けられた指導を目指して、「2020年度 総合的な学習の時間と各教科等の単元を関連付けた年間指導計画」を年度始めに作成し実践することで、生徒の学習への意欲や学習の質を高めることができる授業を目指す。

### 3 本年度研究内容

校長が提唱する、「学校経営の基本方針」に掲げられている内容を基に、今年度研究内容を構築する。  
内容は以下の通り

#### (1) 授業力向上

##### (ア) 単元計画・年間計画の工夫

(Ⅰ) 学習情報の作成

(Ⅱ) 総合的な学習の時間と各教科等の単元を関連付けた年間指導計画の実施

(Ⅲ) 教科会の設定

##### (イ) 授業の工夫

(Ⅰ) まなびのプラン

(Ⅱ) 研究授業の実施

(Ⅲ) 授業評価アンケートの実施

(Ⅳ) 学習環境整備

(Ⅴ) QUテストの実施

(Ⅵ) 授業展開の工夫

##### (ウ) 学校関係者・保護者による授業評価

(Ⅰ) 学校関係者評価委員会（年2回）

(Ⅱ) 学校評議員（年2回）

(Ⅲ) 保護者（年3回）

#### (2) 校内研修の充実

##### (ア) 特別委員会（研究推進委員会）の設置

(Ⅰ) 決議機関の設置

(Ⅱ) 実務機関の設置

##### (イ) 校内研修の計画